

まちの話題

(社)光・熊毛郡法人会 社団化20周年を記念して

車いすの寄贈

5月23日(金)、納税知識の普及や地域貢献を中心に活動する(社)光・熊毛郡法人会(藤井勝会長)から、社団化20周年を記念して、軽量アルミ製車いす20台の寄附がありました。

この車いすは市内小・中学校や冠山総合公園等に配備し、来訪者の利用等に活用します。



自然の中で、 世代を超えたふれあい体験

第12回かつばキャンプ

7月12日(土)と13日(日)に周防の森ロッジで「第12回かつばキャンプ」を開催。85人の子どもたちとその保護者、浅江やろう会など子育てを応援する地域ボランティアの人々が集い、野外料理やキャンプファイヤー、テント泊などを通じた交流を深めました。

事故の無いよう大人たちに見守られる中、子どもたちはさまざまな事に挑戦。そのはつらつとした姿には笑顔が一杯でした。

この体験は、子どもたちにとって楽しい夏の思い出ばかりでなく、共同生活を送る上での貴重な社会経験となったことでしょう。

学校の枠を超えた交流に 会場が大いに沸く

市民特派員の

吉村芳江さん
(三井)



まちがど
レポート

島田中学校区親睦球技大会

6月28日(土)、第35回島田中学校区親睦球技大会が、周防小学校体育館で開催されました。

この大会は島田、上島田、三井、周防の四つの小学校に通う子どもたちが、島田中学校で共に楽しい学校生活を送ることができるよう、その先駆けとして、保護者や、小・中学校の先生方が、ソフ



トバレーボールを通して、交流を図ろうとするものです。

参加チームは島田中学校2チーム、島田、上島田、三井、周防小学校各1チームの計6チームで、応援など含めると100人を超える参加者で会場は大いに盛り上がりました。

親睦が一番の目的なのですが、各学校の看板を背負っての参加となると選手の皆さんの気持ちも自然と高まります。また、子どもたちを初めとする応援団も、先生や保護者の珍プレーや名プレーに熱い声援を送り続けるなど、どの試合も熱戦を繰り広げた結果、優勝は島田中学校Aチームでした。

球技大会を通じて取材した私も、保護者や学校との一体感を感じられたことを嬉しく思いました。